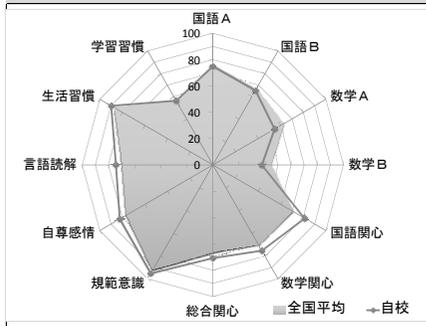


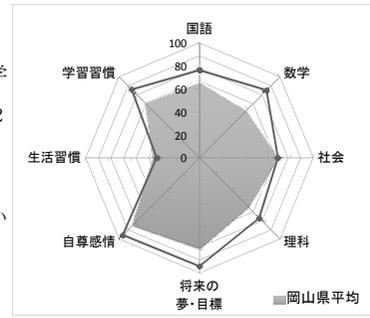
全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要



全国学力・学習状況調査(3年生)

<成果>
 ○国語Aでは、「話す・聞く」「読む」の領域で、1年次の岡山県学力調査、県平均と比べてマイナスからプラスに転じている。
 ○国語Bは「読む」(65.3%)、「書く」(55.5%)で県平均を1~2ポイント上回っている。

<課題>
 ●国語は記述式の問題で23.3%の無回答があった。
 ●数学A、数学Bの全領域で、国平均・県平均と比較して下回っている。



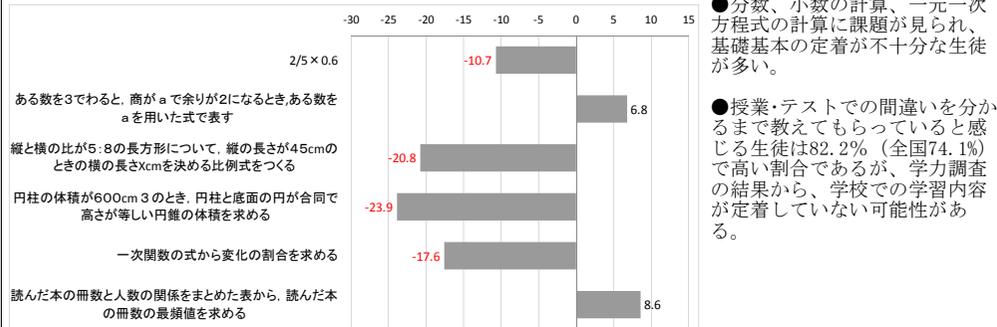
岡山県学力・学習状況調査(1年生)

<成果>
 ○国語では小5・6年の漢字の読み書きは15.2ポイント、文法・語句に関する知識は13.3ポイント、物語の読み取り10.8ポイント県平均より上回った。
 ○数学では基礎は県平均6.9ポイント、活用は県平均6.5ポイント上回り、全体的によくできている。

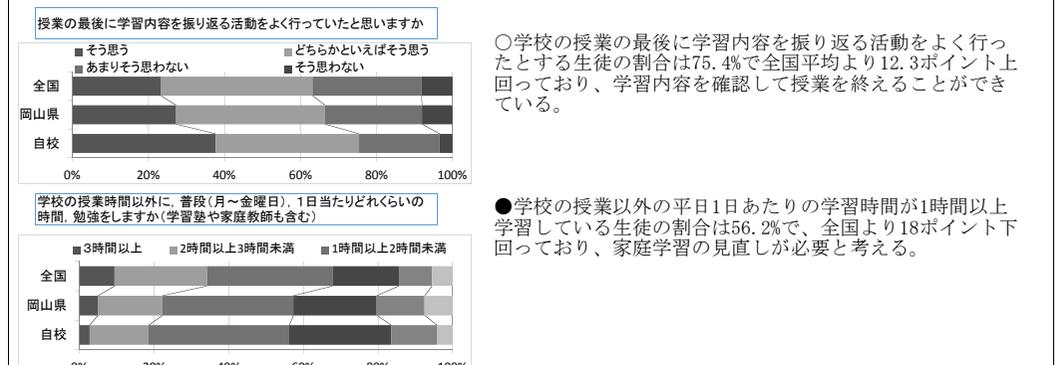
<課題>
 ●話すことは県平均2.7ポイント、書くことは県平均1.4ポイント下回った。
 ●四則計算の性質、代わり方調べは県平均を4ポイント下回った。
 ●社会の「学校の周りの様子」が県平均を11.5ポイント、「岡山県の様子」は県平均を4.5ポイント下回った。

学力の重点課題

数学 全国平均との比較(全国調査)



学習状況の重点課題



改善策

学校での取組

○小中学校の相互で公開授業に参加して、授業研修を行い、授業力を向上させる。
 ○3年生を対象に全教科で補充学習を実施する。
 ○3年生数学のチームティーチング授業等、授業で個に応じた学習指導する。
 ○生徒が教師に分からないことを質問できる時間を、「まなびタイム」として設定する。(全学年、定期考査前)

家庭・地域へのお願い

学校の教育活動と生徒の現状を知ってもらい、地域と学校が連携できるよう協力を仰ぎます。

改善策

学校での取組

○「家庭学習の手引き」を利用し、担任や教科担当者がアドバイスをする。
 ○宿題の量と質の見直しと自主学習を推進する。

家庭・地域へのお願い

基礎的な知識・技能をしっかりと身につけるためには家庭学習の充実にも取り組んでいくことが重要です。毎日1時間30分程度の家庭学習が習慣化できるように、家庭でも声をかけてください。(学校便りやホームページにも随時情報を載せていきます。)

達成目標・検証方法・検証時期

○1月の3年生実力テスト(数学)において10月の実力テストの平均点以上を目指す。

達成目標・検証方法・検証時期

○学期末に家庭生活調査を定期的実施し、実態を把握する。
 ○家庭学習時間が1時間30分以上の生徒70%以上をめざし、目標に届かない生徒には個別に改善ポイントをアドバイスしていく。